



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
平成30年9月18日
第350号



優勝！田中夏実選手

———体調不良を乗り越え V 全日本 J———

1年前、田中選手は体調に異変が有りました。それ以来欠席等が続き、他の選手の6分の1も練習していません。大会前々日も「帰りなさい」という言葉に帰らず、練習できない悔しさのあまり更衣室で泣いていて回復を待っていたという話が有ります。

そういうわけで今大会もどこまで体調が持つか心配でした。案の定3回戦位からおかしくなり、ベスト8決めの時には棄権するか、もしくは審判長に5分の休憩をもらえるかどうか指導者が交渉した位です。フラフラの状態での試合でしたが、不思議なことにその後国体2次予選の8人リーグで負けている遠山さん・川北さん・木村さんに勝ち、優勝してしまいました。体調は決して良くなったわけではなく、頭は痛いし気分はすぐれないという状態だったそうです。



それにしてもこの結果を誰が予想したでしょうか？勝つ可能性は十分に有ると思っても体調が悪すぎました。いつ棄権するだろうかという状態で・・・おめでとう田中選手、心から拍手を送りたい。

優勝直後の田中選手

優勝して 田中夏実

試合までの数週間、試合に出ることがとても怖くて出たくないとずっと思っていました。練習時間はみんなに比べてすごく少ないし、いつ体調が悪くなってしまうか分からなくて毎日不安でした。ですが、勝ちたいという気持ちはそれ以上に強く大きかったです。当日も途中で体調が悪くなってしまう、自分の体の調整をしながら勝たないといけないので代表になれなくてもおかしくないなと思っていました。それでもこの厳しい状況で優勝することができたのは毎日私の体調のことを考えながら丁寧な指導を下さる古川先生、試合でボコボコにして私に調子に乗らせず謙虚な気持ちを忘れないようにと思わせてくれた的確なアドバイスをして下さる染谷先生、しんどくて辛いときに元気をくれる選手みんなのおかげだと思っています。応援やサポートをしてくれる保護者の皆さんや学校の先生方・両親にもとても感謝しています。今回はただの県予選なので、本戦ではもっともっと良い試合ができるようこれからまた気合いを入れて練習したいと思います。